

神奈川県横浜市栄区



コミュニティ名：栄区

国：日本

コミュニティの人口：123,798人（2013年2月）

セーフコミュニティプログラムを開始した年：2010年

◆国際SCNメンバーシップ

認証年：2013年

認証センター：アジア地域WHOセーフコミュニティ認証センター
プログラムに関する情報が得られるウェブサイト：

<http://www.city.yokohama.lg.jp/sakae/sidemenu/safecommunity/>

◆詳細に関する問い合わせ

名前：栄区役所総務部総務課 野上康之

住所：栄区桂町303-19

郵便番号：247-0005

自治体名：横浜市栄区

国名：日本

電話番号（国番号を含む）：81-45-894-8768

ファックス：81-45-895-2260

メールアドレス：sa-safecom@city.yokohama.jp

コミュニティや組織の情報を得られるウェブサイトの有無：

<http://www.city.yokohama.lg.jp/sakae/>

◆安全に関する取組（年齢ごと）

子ども 0-14 歳

【家庭】

- 子どもの事故予防リーフレット
家庭でよく起きる事故情報などを掲載したリーフレットを配布する。
- 危険予知トレーニング
子ども自身が危険を予知し、回避する力を身につけさせるための訓練を行う。
- こんにちは赤ちゃん訪問
生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、育児相談や情報提供を行う。
- 行政の取組
区役所では、周産期からの育児支援をはじめ、専門職による家庭訪問、育児不安解消のためのカウンセリングやリラクゼーション実施など、様々な事業を行っている。また在宅保育支援として、次のような事業を実施している。
 - ・ 保育園：園庭開放、ランチ交流、絵本貸し出しなど
 - ・ 地域子育て支援拠点：親子の交流の場の提供、子育て相談、子育て支援者の人材育成などを行う施設で、社会福祉法人などが運営。
 - ・ 乳幼児一時預かり施設：少ない利用者負担で、理由を問わず、誰でも一時的に子どもを預けられる。

【交通】

- 交通安全マップの作成
交通事故などの危険箇所を掲載したマップを作成する。また、子どもの見守りや高齢者への啓発活動などで活用する。
- 交通安全キャンペーン
交通安全の啓発を行う。



夏の交通事故防止運動

- 交通安全教室
子どもや高齢者を対象に、交通安全教室を実施する。
- 幼児・児童の自転車ヘルメット着用啓発
チラシ、キャンペーンにより自転車ヘルメット着用を促進する。
- チャイルドシート講習会

保護者向けのチャイルドシート講習会を実施。

- 道路環境の整備
事故多発地点の路側帯のカラー化や歩道の設置などの道路環境整備を行う。

【学校】

- 地域住民による登下校時の見守り
小学生の登下校時の見守りを行う。
- 校庭、園庭、公園の芝生化
こどもが安心して遊べる環境を作るため、行政が校庭、園庭、公園の芝生化を進め、地域住民が維持・管理を行う。



校庭の芝生化

- 施設、遊具の管理・点検
公園や学校等の施設・遊具の管理・点検を行う。
- 体力向上プログラム
小・中学校で、こどもの体力向上プログラムを実施する。
- サイバー教室
サイバー犯罪被害を防止するため、学校で出前講座等を行う。
- 交通安全教室
こどもや高齢者を対象に、交通安全教室を実施する。



交通安全教室

- 防災教室

将来の防災の担い手である小学生を対象に、防災教室を実施する。

青年 15-24 歳

【家庭】

- 住宅用火災警報器の設置促進

イベント・キャンペーンを利用し、住宅用火災警報器の普及啓発活動を行う。



住宅用火災警報器の普及啓発

【交通】

- 交通安全マップの作成

交通事故などの危険箇所を掲載したマップを作成する。また、子どもの見守りや高齢者への啓発活動などで活用する。

- 交通安全キャンペーン

交通安全の啓発を行う。

- 道路環境の整備

事故多発地点の路側帯のカラー化や歩道の設置などの道路環境整備を行う。

【スポーツ・余暇】

- スポーツイベント参加者の拡大

ロードレース大会等のスポーツイベントを開催し、広く区民に参加を呼びかける。

- 事故・けが予防講習会

スポーツイベント開催時などに、事故・けが予防についてのアドバイスを行う。



事故・けが予防講習会

成人 25-64 歳

【家庭】

- 住宅用火災警報器の設置促進
イベント・キャンペーンを利用し、住宅用火災警報器の普及啓発活動を行う。

【交通】

- 交通安全マップの作成
交通事故などの危険箇所を掲載したマップを作成する。また、子どもの見守りや高齢者への啓発活動などで活用する。
- 交通安全キャンペーン
交通安全の啓発を行う。



交通事故の再現による啓発イベント

- 道路環境の整備
事故多発地点の路側帯のカラー化や歩道の設置などの道路環境整備を行う。

【職場】

- 労働監視
労働関係法令に基づき、事業場に立ち入り、法律等の遵守と労働条件の向上を図る。

【スポーツ・余暇】

- スポーツイベント参加者の拡大
ロードレース大会等のスポーツイベントを開催し、広く区民に参加を呼びかける。
- 事故・けが予防講習会
スポーツイベント開催時などに、事故・けが予防についてのアドバイスを行う。

高齢者 65歳以上

【家庭】

- 介護予防教室・講演会
高齢者の自主的な介護予防活動を支援する。



介護予防教室

- 元気づくりステーション
地域住民が自主的に介護予防活動を展開し、行政はその支援を行う。
- 体力向上・脳力向上プログラム
栄区独自の介護予防プログラムをつくり、普及させる。
- 認知症サポーター養成講座
区民を対象に、認知症に対する理解を深めるための講座を実施する。
- 地域の見守りネットワーク
要支援高齢者の早期発見・支援のため、配食サービス等を利用した見守りを行う。
- 徘徊高齢者SOSネットワーク
認知症高齢者とその家族の支援を行う。
- 要援護高齢者を支援する実務者連絡会
介護保険事業者や医療機関等の実務者を対象に、連絡会を開催する。
- 住宅用火災警報器の設置促進
イベント・キャンペーンを利用し、住宅用火災警報器の普及啓発活動を行う。

【交通】

- 交通安全マップの作成
交通事故などの危険箇所を掲載したマップを作成する。また、子どもの見守りや高齢者への啓発活動などで活用する。
- 交通安全キャンペーン
交通安全の啓発を行う。
- 交通安全教室
こどもや高齢者を対象に、交通安全教室を実施する。
- 道路環境の整備
事故多発地点の路側帯のカラー化や歩道の設置などの道路環境整備を行う。

【スポーツ・余暇】

- スポーツイベント参加者の拡大
ロードレース大会等のスポーツイベントを開催し、広く区民に参加を呼びかける。
- 高齢者向けスポーツ活動の実施
ウォーキング等、高齢者が気軽に参加できるスポーツ行事を充実させる。
- 事故・けが予防講習会
スポーツイベント開催時などに、事故・けが予防についてのアドバイスを行う。

◆自然災害**【地域防災の担い手の確保・育成】**

- 消防団
消防団員を増やすため、イベント時等に広報を行う。
- 防災教室
将来の担い手である小学生を対象に、防災教室を実施する。
- 救命講習
中学生、高校生を対象とした救命講習を実施する。
- 防災ライセンスリーダー
地域防災拠点に備えている防災資機材取扱を身につけた地域住民を増やすため、講習会を行う。

【地域防災拠点訓練】

- 地域防災拠点訓練
地域住民が中心となって、避難場所の開設、運営を行うための訓練を行う。



地域防災拠点訓練

- ボランティアセンター
発災時に区外からボランティアを受け入れるためのセンター立ち上げ・運営訓練を行う。

【防災広報の充実】

- 防災出前講座
区民の防災知識の向上のため、行政職員等が地域に出向いて講座を実施する。
- 携帯端末の活用
Eメールやツイッター等を活用し、迅速な防災情報を発信する。

- ハザードマップ

地震災害、洪水、土砂災害等の危険区域や避難場所を記載したマップを作成し配布する。

【災害時要援護者支援】

- 災害時要援護者支援

地域における要援護者を把握し、発災時に要援護者が安全に避難できる体制を構築する。

【水害への備え】

- 水害対策訓練

集中豪雨等による浸水や土砂災害等を想定し、避難・救助訓練等を実施する。

【火災予防】

- 放火火災を予防するための巡回

放火火災を防止するためのパトロールを行う。

◆暴力・虐待予防（児童虐待）

【地域で子育てを応援する風土づくり】

- こんにちは赤ちゃん訪問

生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、育児相談や情報提供を行う。



「こんにちは赤ちゃん訪問」オリジナルファイル

- 子育て講演会

子育てに関する講演会を開催する。

【子育てを支援する人材の育成】

- 子育て支援講座

子育て支援者育成講座を開催する。

- 子育て支援者ネットワーク

子育て支援者のネットワーク化をはかり、情報提供や相談機会を提供する。

【情報発信の仕組みづくり】

- 地域子育て支援拠点

乳幼児の親子の居場所の運営や子育て相談、情報提供を行う。

- ホームページ・広報紙による情報発信

区のホームページや広報誌を活用し、相談窓口の紹介や子育て情報を発信する。

- よこはま子ども虐待ホットラインの周知

児童虐待専門の電話相談の広報を行う。

- 児童虐待防止連絡会
児童虐待の早期発見・対応のための連絡会を開催する。
- 保育サービス
保育園の整備や乳幼児一時預かり等の保育サービスを充実させる。

◆暴力・虐待予防（高齢者虐待）

- 認知症サポーター養成講座
区民を対象に、認知症に対する理解を深めるための講座を実施する。
- 地域の見守りネットワーク
要支援高齢者の早期発見・支援のため、配食サービス等を利用した見守りを行う。
- 徘徊高齢者SOSネットワーク
認知症高齢者とその家族の支援を行う。
- 要援護高齢者を支援する実務者連絡会
介護保険事業者や医療機関等の実務者を対象に、連絡会を開催する。

◆自殺予防（自傷）

- リーフレット・啓発グッズの作成・配布
イベント等でリーフレットや啓発グッズを配布し、自殺予防に対する区民の理解を深める。
- ゲートキーパー育成
区民全員がゲートキーパーになることを目指し研修を行う。



ゲートキーパー育成研修

- 相談窓口の広報
悩みを抱えている人のための相談窓口情報をリーフレット等により周知する。
- 生活支援センターの運営
精神障害者の自立、社会復帰を促進するため、生活支援や相談、地域交流活動を行う。
- 栄区メンタルヘルス支援ネットワーク
メンタルヘルス対策関係者を対象に、事例検討や情報交換等を行う学習会を実施する。

◆ハイリスクグループに対する取組

【虐待を受ける人（児童）】 「暴力・虐待予防（児童虐待）」 参照

【虐待を受ける人（高齢者）】 「暴力・虐待予防（高齢者虐待）」 参照

【自傷を含む意図的要因による外傷のリスクにある人】 「自殺予防」 参照

【自然災害において外傷のハイリスクにある人】 「自然災害：災害時要援護者支援」 参照

◆外傷サーベイランス

年間件数：

・死亡データ 約60件

・外傷データ 1,200～1,400件

開始年：2010年

◆出版

情報キット：

リーフレット

栄区セーフコミュニティ活動を推進するための行動計画

プロモーションビデオ：自殺予防

<http://www.youtube.com/watch?v=dcxMafEpFTU&feature=youtu.be>

プロモーションビデオ：災害への備え

<http://www.youtube.com/watch?v=JycGZUcn0po&feature=youtu.be>

◆スタッフ

リーダー：栄区長 尾仲 富士夫



人数：23人

職業：栄区役所総務課職員

◆組織

安全向上のための特定の分野横断的組織：栄区セーフコミュニティ推進協議会

一般的公衆衛生・健康増進のグループ：栄区福祉保健センター



◆国際的コミットメント

セーフコミュニティ会議への参加

<国外>

- 2010年3月 第19回国際セーフコミュニティ学会（韓国／スウォン市）
- 2011年4月 台湾セーフコミュニティ国際シンポジウム（台湾／台北市）
- 2011年9月 第20回セーフコミュニティ国際会議（スウェーデン／ファールン）

<国内>

- 2010年11月 市民安心・安全フェスタ2010inあつぎ（神奈川県厚木市）
- 2011年11月 全国セーフコミュニティ推進自治体ネットワーク会議設立総会（神奈川県厚木市）
- 2012年5月 長野県箕輪町セーフコミュニティ認証式典（長野県箕輪町）